
失恋

三日月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

失恋

【Nコード】

N3146F

【作者名】

三日月

【あらすじ】

友達と、好きな人がかさなった時、あなたは どうしますか？

（前書き）

これは、私が小学6年生の時の話です。もちろん、名前は全員かえ
ています。この話は、

私からみたものなので、実際は少し違ったかも・・・
内容さえ分かってくれば嬉しいです。

「南那は、憂気と海梨が気になってるんだよねー。」

友達四人で公園で遊んでいた時、百華が好きな人いるかみんなに聞いたのが事の始まりだった。

じゃあ、南那から言うねー

と、言つて、私が気になっている人を言ったら、

「えっ・・・うちも・・・」

と仲の良かった、亜莉紗がそう言った。

前から亜莉紗は、私の真似をするのが好きだったから、（また、真似？）

つておもった。普通に考えてみても、気になる人が二人同じってなかなかないと思うから。

それから、いつの間にか、私と亜莉紗は一緒にいることは少なくなった。帰るのは一緒だけど。

亜莉紗は、憂気と仲の良い女子と仲良くなり、私は、憂気とは仲良くないけど、仲の良い友達ができた。

亜莉紗は、友達に教えてもらった、憂気のマラソン大会に応援に行ったりした。もちろん、私には知らせずに。（卑怯だ。）

私はいつもそう思っていた。好きな人を真似したくせに、私よりも憂気の事をたくさん知っている。ずるいと思った。

ある日、亜莉紗と帰っていた時、突然、
「うち、憂気に告る。」
と言った。

理由は、百華と春夏と約束したらしい。百華は、好きな人に告り、春夏は、好きな人のアドを聞き、亜莉紗は告る。みんな、絶対実行しなくちゃいけないんだって。

次の日、亜莉紗は憂氣に告白した。

返事は、OKだった。放課後にそれ聞いた私は、すごく悲しかった。まわりにはみんないた。けど・・・我慢できなくて、私は泣いた。亜莉紗も泣いていた。

少し、私達は話した。

「これからも、仲良くしてね・・・」

と、言われた。その時は、

「うん。」

って言ったけど、心の中では、

（この頃、仲良くなかなかったじゃん。それも、亜莉紗が私を先に見捨てたんだよ？なのに、、、、）
ってずっと思っていた。

いつの間にか家に帰っていた。

「どうしたのっ?！」

と、母に言われ、全ての事情を話したら、ギューってされた。その日の塾は休んだ。

そして、母に気付かれないように、電話を部屋にもって行って、憂氣に電話した。

「亜莉紗と付き合うことになったんだよね。おめでとう。」
って言ったら、

「亜莉紗に聞いたの?」

って言われて

「うん。」

って答えた。

「それでね．．．南那、憂氣のこと好きだったんだ。気持ちだけ、伝えたくって．．．」

と、気持ちを言った。

「そっか．．．」

と、言われて、どちらともなく、電話を切った。

それから、どう過ごしていたか、分からなかった。

けど、亜莉紗と一緒に帰っていた時、

「うち、憂氣と別れた。」

と言われ、更に、

「南那、まだ憂氣の事好きでしょう？ 応援するよっ！」
と言われた。

意味が分からなかった。一ヶ月位しか、たっていなかったのに．．．
ほんとに、憂氣の事好きだったの？ それともやっぱ、嘘だったの？
確かに、まだ憂氣の事好きな私もいけないと思うけど、たった一ヶ月で別れるってなに？ 私だったら、そんなすぐ別れなかった。

と、ずっと、考えていた。

それから、特になにもなく過ごした。母から、

憂氣はもともと、私が好きだったけど、亜莉紗の迫力にまけて、OKした。

とか、いろいろ聞いた。

けど、もう戻れない、あの頃の淡い記憶。

（後書き）

読んで下さってありがとうございました！！

このような事があつたな・・・と思い返せるように書いた作品なので、みなさんが読んで楽しくなかったかな？と、思います。が、読んで下さった事に、ただただ感謝ですっ！！本当にありがとうございましたっ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3146f/>

失恋

2011年10月5日13時03分発行